

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イネいもち病・飛来性害虫の発生状況（技術情報5号）について（送付）

このことについて、技術情報を下記のとおり取りまとめましたので、参考資料としてご活用下さい。

記

## 1 いもち病（別紙1）

### 1) BLASTAMの判定結果について

BLASTAM（「アメダス」を利用した葉いもちの発生予察システム）によるいもち病感染に好適な気象条件が、6月15日～17日、7月2日に県内全域で出現しています。いもち病感染好適日から7～10日後に葉いもちの発病が心配されますので、いもち病感染好適気象条件が出現した地域では、今後の発生に注意して下さい。

## 2 飛来性害虫（別紙2）

### 1) ウンカ類（表1）

本渡市及び合志町の予察灯・ネットトラップによると、熊本県へのセジロウンカの初飛来は6月12日～15日であり、その後6月23日～30日において断続的に飛来が確認されました。そのうち、6月23日～24日、6月30日にまとまった飛来がありましたが、平年（過去5年）と比較してやや少ない飛来量です。

一方、トビイロウンカについては、7月1日に本渡市（予察灯）で2頭確認されていますが、ここ数年と同じく少飛来の傾向が続いています。

### 2) コブノメイガ（表2）

本渡市の予察灯では、6月23日～7月1日まで断続的に確認しています。また、本田における成虫の追い出し調査結果より、飛来量は平年よりやや多いと考えられます。6月26日を主飛来日として、有効積算温度から発蛾最盛日を予測し、別紙2の表2に示しています。ただし、今後の気温次第では発蛾最盛日が前後しますので、圃場での発生状況に注意して下さい。

問い合わせ先

熊本県農業研究センター

生産環境研究所病虫害研究室

予察指導係（病虫害防除所）

担当： 樋口

TEL096-248-6490

FAX096-248-6493